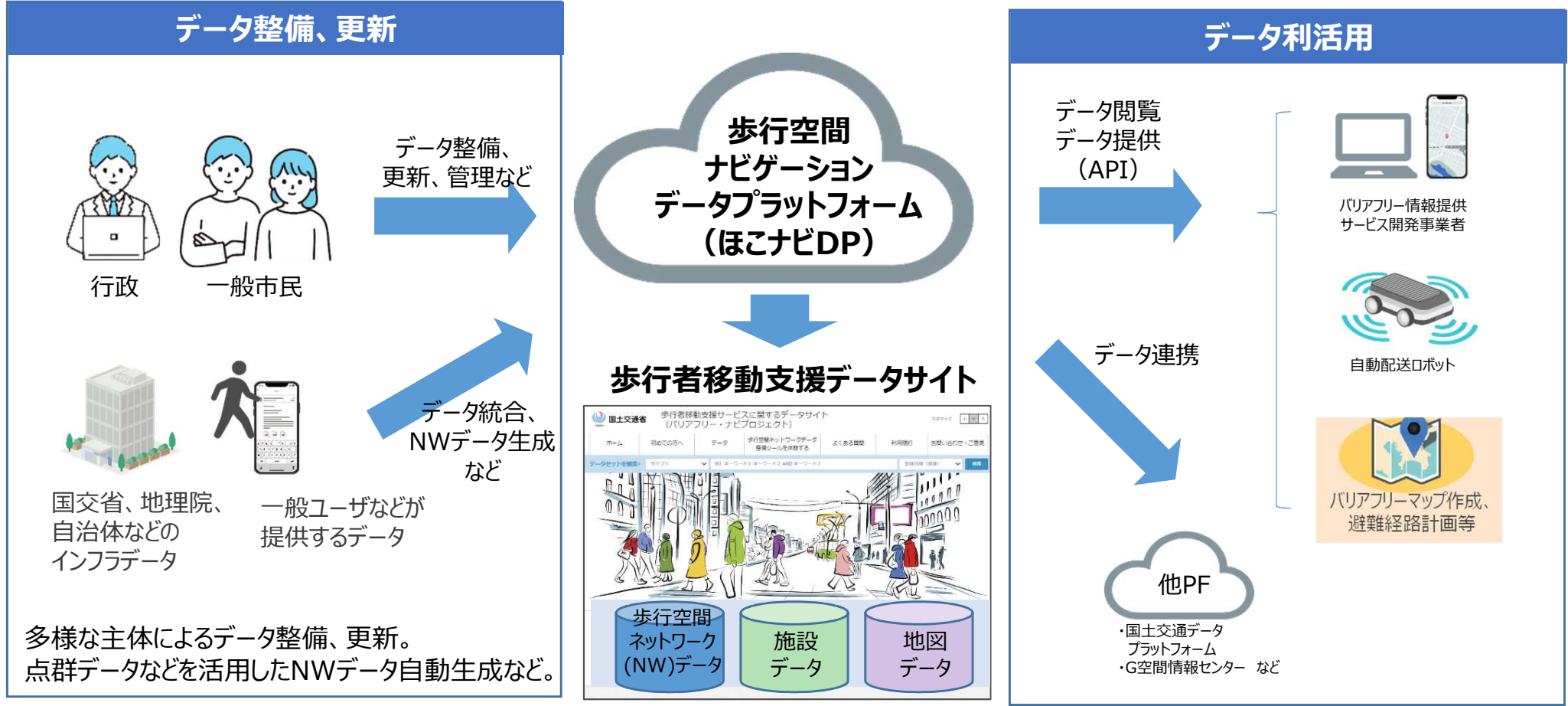


# 課題に対する当面の対応方針

---

令和5年6月  
政策統括官付

歩行空間ネットワークや施設データの整備・更新と利活用を一体的に行うデジタル基盤「歩行空間ナビゲーション データプラットフォーム」(以下ほこナビDP)を整備中。これまでの課題を踏まえ、ほこナビDPの機能を検討・搭載し、歩行空間の移動支援を普及・高度化を促進。



# 各データの課題に対する当面の対応方針



	課題	仕様・手順書等	ほこナビDP機能	
<b>歩行空間ネットワークデータ</b>	新たなニーズへの対応が必要	「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様」の改訂	データWG	
	データの効率的な更新手法が必要	市民等からのデータ提供による更新機能の構築	データWG	
	新技術等を活用した新たなデータ整備手法が必要	歩行空間ネットワークデータ自動生成機能の構築	①針金データ自動生成機能	データWG
			②バリア情報自動生成機能	地図WG
	③①②の統合機能	データWG		
データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	①及び②に関するデータ整備手順書作成	データWG		
	ほこナビDP運用手順書の作成	データWG		
<b>3次元地図データ</b>	自動配送ロボット等の走行に必要なデータの整備・更新手法を検討 + バリア情報の自動生成等に活用可能なデータの整備・更新手法を検討※	3次元点群データの要件整理	データWG※	
		3次元点群データの取得・統合手順書の作成	地図WG	
		3次元点群データ管理・登録/フィルタリング機能の構築	地図WG	
		複数3次元点群データの統合機能の構築	地図WG	
	データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	ほこナビDP運用手順書の作成	地図WG	
<b>バリアフリー施設データ</b>	バリアフリー施設データ形式等の共通化、及び整備・管理・オープンデータ化作業の効率化が必要	施設管理者が所管するバリアフリー施設情報が整備・管理しやすいデータ形式等の作成	データWG	
		施設データの整備・管理・オープンデータ化機能の構築	データWG	
	データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	ほこナビDP運用手順書の作成	データWG	

移動支援サービスの全国各地におけるより早期の普及や高度化を目指し、ほこナビDPによるデータの整備・更新などの手法や仕組みの更なる効率化や高度化を検討し、好事例横展開と研究会などによるネットワーク拡大や、仕様やマニュアル作成と講習会実施などにより、普及促進のサイクルを目指す。

